

日本有数のカーネーション産地・西尾市で出荷最盛期 「母の日」向けに1日で15万本を出荷

愛知県西尾市で、5月8日の「母の日」に向けてカーネーションの出荷が最盛期を迎えます。

西尾市は年間生産量2,097万本を誇る、全国でもトップクラスのカーネーション産地。出荷ピークは4月下旬から5月上旬にかけて。JA西三河の営農センター3か所では、この2週間で管内の農家より約100万本のカーネーションが出荷されます。週に3回集出荷しており、1回の出荷で約15万本を選花・集荷。また、個々のカーネーション生産者も盛んに収穫・選花を行い、市場へ出荷しています。

■メディア対応日■

【日時】4月26日(火)
午前10時30分 集合

【集合】
JA西三河あぐりセンター池田
(西尾市一色町池田東八反15)

※最盛期のため、出荷場での対応のみとさせていただきます。
※取材を希望される場合は、JA西三河企画課 神谷までご連絡ください。



JA選花場での出荷作業の様子



■作柄 (4月20日現在)

例年は母の日明けにピークを迎えますが、今年は春先の天候に恵まれて日照量もしっかり確保されており、順調な出荷が続いています。最需要期となる「母の日」にピークが迎える見込みです。

※今後の天候により、作柄は変動します。

西尾市のカーネーション生産の概要

～バラエティ豊かな西尾のカーネーション～

西尾市でカーネーション栽培が始まったのは戦後間もなく。起伏が少なく水はけのよい土地や、日照時間が長く温暖な気候がカーネーションの生育条件とよく合い、かつて市町村別生産額1位を誇った一色地区をはじめ、吉良地区、小栗地区で盛んに生産されています。

出荷形態は「**共選**」と「**個選**」の2種類。農家はそれぞれのメリット・デメリットを考慮して選択しています。



JA西三河カーネーション部会に所属する「共選」農家

・部会内で決められた共通の出荷規格・品種を生産

→ 選花などにかかる経費を払う必要があるが、部会ごとにまとめて出荷するため、大ロットでの有利販売が可能&部会のブランド名を使用できる

・収穫した花はそのままJAの選花場に持ち込み

→ 選花・出荷作業の労働力を削減、生産に集中できる

【西尾市のカーネーション生産】

規模：44戸（現時点）、20.3畝（令和元年度花き生産実績より）

出荷量：約2,097万本（令和元年度花き生産実績より）

収穫時期：10月～6月（ピークは母の日前の2週間）

（全国の生産概況）

全国のカーネーション出荷量：2億6,200万本

愛知県のカーネーション出荷量：4,610万本（全国2位、1位は長野県）

データ：農林水産省 作況調査（花き）令和2年産統計表

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kaki/index.html

320品種ものバラエティ豊かなカーネーションを生産

カーネーションのうち、年間を通じて人気が高いのは「ピンク」ですが、母の日に需要が高まるのは「赤」です。

一輪咲きの赤いカーネーションでは

「エクセリア」が定番品種として愛されています(写真右)。

